

タイトル…『ファニーたい焼きトム50
ゆずジャム』ジャンル…ハイテンション
コメディー構成…五幕構成

第一幕…「新メニュー爆誕！」

シーン①…オープニング「たい焼きト
ム」開店前

（朝、たい焼き屋『たい焼きトム』。暖
簾をくぐり店内に入ると、トムが厨房で
何か実験中。カウンターには大小さまざ
まな焼き型と、湯気を立てる謎の鍋）

トム「グッドモーニング、魚住！今日も
最高のたい焼きを創るぞ！」

魚住（あくびしながら）「おはようござ
います、トムさん…：また新作ですか？
まさか今回も変なやつじゃ…：？」

（トムが誇らしげにたい焼きを掲げる。
焼きたての生地がこんがりと輝き、甘酸
っぱい香りがふわりと広がる）

トム「じゃじゃーん！今日の新作は……
『ゆずジャムたい焼き』だ！」

魚住（驚きつつ眉をひそめる）「えっ、
ゆずジャム！？それって……たい焼きに
合うんですか？」

トム「魚住、想像してみる。カリッと焼
けた皮をかじると、まず最初に感じるの
はバターの香り。そして、中からとろけ
るように溢れ出るゆずジャム……フルー
ティーで甘酸っぱく、舌の上で踊るよう
に弾けるシトラスの風味！これぞ究極の
和洋折衷！」

魚住（想像して一瞬うっとりするが、す
ぐに我に返る）「でも、うちの常連さん
って基本、あんこ派ですよ……？」

トム「ノープロブレム！オレのたい焼きはただの食べ物じゃない、エンターテイメントなんだ。驚きと感動、そして未知との遭遇が大事！」

（魚住がため息をつきながら、看板を書き直す。『本日のスペシャル！ゆずジャムたい焼き』と大きく書かれる）

第二幕.. 「客のリアクション」

シーン②.. 最初の客ーおばあちゃん

反応

（開店後、一人目の客が入店。常連のおばあちゃん（70代）。いつものようにゆつくりとカウンターに腰掛ける）

おばあちゃん「いつものあんこをひとつねえ」

トム「へい！おばあちゃん、今日は新作を試してみないかい？」

おばあちゃん「新作……？」（メニューを見る）「……ゆずジャム？どれどれ……」

トム「試食はタダだよ！さあ、ひと口どうぞ！」

（トムがカウンターからスツとたい焼きを差し出す。おばあちゃん、興味津々で手を伸ばし、かじる）

（カリッ！という小気味よい音。そして、じゅわっと溢れるゆずジャム。おばあちゃんの目が輝く）

おばあちゃん「……んん！？こ、これは……！」

（口の中で広がる濃厚な甘酸っぱさ。砂糖の甘みの後に、爽やかな柑橘の香りが

一気に弾ける。まるで春風が吹き抜ける
ような軽やかさ！)

魚住「ど、どうですか……？」

おばあちゃん(満面の笑みで)「美味し
いねえ！これはまるで、お口の中で小さ
な春祭りが始まったみたいだよ！」

トム「イエス！！！」(ガッツポーズ)

(この後、さまざまな客が来店し、それ
ぞれのリアクションが展開される――)

・サラリーマン(40代)「昼飯に甘いの
は……(食べて)おおっ！？これ、スッ
キリした甘さでいける！」

女子高生二人組「えー、映えないけど……
(食べて)うまつ！ゆずジャム、めっち
や爽やか！」

たい焼き通の男性（50代）「ほう……（食べて）これは計算され尽くした味わい。職人の技を感じるな！」

第三幕.. 「大ヒットとライバル登場」

シーン③.. 予想外の人気

（店の前には長蛇の列。SNSで拡散され、『ゆずジャムたい焼き』が話題に）

魚住「す、すごい！こんなに人が並んでるなんて！」

トム「ハハハ！これぞファニーたい焼きパワーだ！」

（次々とたい焼きを焼いていくトムと魚住。客の反応もますますヒートアップ！）

カップル「甘すぎなくて、めっちゃくちゃ食べやすいね！」

外国人観光客「ワオ！日本のたい焼き、最高デス！」

（そこに、不敵な笑みを浮かべた男が現れる——ライバル店の店主、黒川（40代））

黒川「ほお……なかなかやるじゃねえか、トム」

トム（眉をひそめる）「……お前は！」

魚住「えっ！？トムさん、この人知り合いですか？」

黒川「フッフ……こっちも新作をぶつけさせてもらうぜ。『ゆずチョコたい焼き』、明日から販売だ！」

トム「な、なんだってー！？！？」

第四幕…「対決！たい焼きバトル」

シーン④…たい焼きバトル開始！

（町の特設会場。観客で埋め尽くされた広場の中央には巨大な鉄板ステージ。実況席には人気グルメポーターが座る）

実況 「さあ皆さん、お待ちかねの対決の時間がやってまいりました！『たい焼きトム』の店主トム vs. 『黒川たい焼き本舗』の黒川店主！今回のテーマは……ズバリ、ゆずを活かしたたい焼き対決です！！」

（観客大歓声。ファンがそれぞれの応援ボードを掲げる）

トム 「オレのたい焼きはフアニーでハッピー！ 今日最高一品を焼き上げるぜ！」

黒川 「くだらねえパフォーマンスだけじゃ勝てねえぞ、トム。真の職人の技を見せてやる！」

実況「それではバトル開始！！」

（鐘が鳴り、二人が一齐にたい焼きを焼
き始める）

（トムの鉄板には黄金色の生地。バター
の香りがふわっと広がり、じゅわっと広
がる音が響く。カリッと焼けた表面から
は甘酸っぱいゆずジャムが輝くように滲
み出す）

（黒川の鉄板には漆黒の生地。ほろ苦い
ココア生地の中に、濃厚なゆずチョコレ
ードが封じ込められている。生地を流し
込むと、艶やかな黒が鉄板の上で妖しく
光る）

実況「おおっと、両者全く異なるアプロ
ードだぁ！！トムは王道の和洋折衷、黒
川は大人のピター&スイート路線！これ
は好対照！！」

観客 ▶「うわっ、トムの方からバターと
ゆずの甘酸っぱい香りが漂ってく
る……！くうう、腹が鳴る！」

観客 B「黒川さんのココア生地……しつ
とりしてそれで、めちゃくちゃ上品な香
り！」

（試食タイム。審査員により食べ比べが
行われる）

審査員 ▶（ゆずジャムたい焼きを食べて）
「うおおお！！皮のサクサク感、そこか
らあふれ出すジューシーなゆずジャ
ム……！ほら見てくれ、この輝き！ま
るで太陽の滴をそのまま閉じ込めたよう
だ！甘酸っぱさが弾けて、爽やかさの嵐
が口の中を駆け巡る……！これは春の風
が吹き抜けるような味だ！」

審査員 B（ゆずチョコたい焼きを食べて）
「なんという奥深さ……！ほろ苦いココ

ア生地がまず舌の上でしっとり溶け、次の瞬間、濃厚なゆずチョコがとろけるように広がる……！ほら、このゆずの皮のツブツブ感がアクセントになって……まるで、口の中で高級シヨコレイエの舞踏会が開かれているようだ！」

審査員○（両方交互に食べて悶絶）「おおおお！！この甘酸っぱさとほろ苦さ……光と影が交差する味……！いや、むしろこれは、味覚の交響曲だ！！！」

審査員☹（さらに興奮して）「このたい焼きの中で、ゆずが語りかけてくる……！『俺はここにいる！』と！ほら、ジャムの中で弾けるゆずピールが、まるで小さな爆発のように舌の上でダンスしている！！！」

（観客の間にも賛否が分かれ、会場がヒートアップしていく）

実況「さあ、審査員の判定は……！？」

第五幕…「決着と未来」

シーン5： 勝者決定！

（審査員長が厳かに手を挙げる）

審査員長「勝者は………『たい焼きトム』
のトム！！」

（大歓声！風船が舞い、紙吹雪が舞い散る）

トム「イエエエエス！！」（飛び跳ねてガッツポーズ）

黒川「くっ……だが認めるぜ、トム。お前のたい焼きには確かに魂がこもっていた……！」

（黒川、トムと固く握手を交わす）

魚住「よかった……！」（ほっと胸をなでおろす）

（そこへ新たな客の列ができ始める）

客A「おお、これが優勝したたい焼きか！」

客B「SNSで見た！食べたいー！」

（店の前には長蛇の列。『たい焼きトム』はますます繁盛することに……！）

トム「次はもっとファニーでクレイジー
なたい焼きを作るぜ！」

魚住「えっ、もう次！？ ま、また変なやつ
じゃないでしょうね……！？」

（トム、ニヤリと笑って「ヒ・ミ・ツ」と
ウイंक）

（画面フェードアウト、エンドロールへ
——）

（完）

● **第一幕（約15分）**：トムの新メニュー
開発。魚住とのやり取り、お客の最初
の反応。

● **第二幕（約15分）**：ゆずジャムた
い焼きの評判が広がり、客が押し寄せる。
お客のリアクションシーン多数。

- • **第三幕（約15分）**：黒川の登場、対決の布石。ライバル店との比較、メディア取材などで盛り上げる。

- • **第四幕（約20分）**：たい焼きバトル。調理過程、実況、審査員の試食リアクションをさらに盛り上げる。

- • **第五幕（約5分）**：結果発表、決着、エピローグ。次の展開への期待を持たせる。

-